

仕事と育児の両立

～私たちの多彩なワークスタイル～

行政事務

所属 **総務部**
市町村行政課 課長

平成5年度採用



略歴

H5～ 東白川農商高等学校

第1子出産 育児休業取得

H7～ 県南社会福祉事務所 福祉課

第2子、第3子出産 育児休業取得

H11～ 総務部 職員厚生課

第4子、第5子出産 育児休業取得

H17～ 県北地方振興局 企画商工部 市町村支援課

H21～ 福島県立医科大学事務局(派遣)

H24～ 保健福祉部 子育て支援課

H26～ あさか開成高等学校

H29～ 子ども未来局 児童家庭課

R2～ 生活環境部 消費生活課

R4～ 総務部 市町村行政課

福島県職員を志望した理由

私は、大学卒業後、教員として2年間勤めた東京都の小学校を辞め、福島県に転居し結婚しました。福島県に根付くために様々な人とつながりたいと思い、県職員採用試験を受験しました。高校教員の夫と転勤区域が同じこと(県内)も志望理由です。



育児と仕事の両立

常に仕事の優先順位を意識し、子どもの発熱など急に休まざるを得ない事態に備えました。子どもの保育園の送迎や学童保育のお迎え、残業時の家事や子どもの世話などは、夫と相談し助け合って乗り切りました。職場のサポートあってこそその両立でしたが、子どもたちも家族の一員として協力し、毎日分担してお手伝いしてもらいました。

(令和5年3月現在)

